志貴野中学校区小中一貫教育の目標

豊かな人間性と自立した人格をもち未来を切り拓く子供の育成
～小・中連携と学校・家庭・地域との協働を通して～

能町小学校 学校教育目標

豊かな心をもち、たくましく生きる子供の育成

学び合う子

やさしい子

つよい子

今年度の重点目標

思いやりの心をもち、進んで行動する子供の育成

目標達成のためのアクションプラン

学び合う子

- 自分の考えや思いを分かりやすく伝えている。(80%以上)
- 相手の言いたいことを考えながら聞いている。(80%以上)

やさしい子

- 気持ちのよい挨拶をしている。(85%以上)
- あったか言葉で助け合っている。(85%以上)

つよい子

- 目当てをもって健康な体づくりに取り組んでいる。(80%以上)
- 安全に気を付けて生活している。(90%以上)

児童が安全で安心して活動できる学校

- 日々の活動を通し、自他をかけがえのない存在として大切にする心を育てる。
- 互いのよさや努力を認め合い、励まし合う場を設け、自己存在感や自己有用感を高める。
- 夢や目標をもつ場を大切にし、進んで挑戦し努力しようとする意欲を高める。
- 挨拶、やさしい言葉遣い、助け合い等、温かな交流を学校全体に広げ、安心して学ぶことができる「居場所」づくりに努める。

学校経営の方針

学ぶ意欲を高め、 確かな学力を育む授業づくり

- 児童の問題意識を高め、協働的な学びを工夫することで、他と関わりながら主体的に学び、学んだことを生かそうとする力を養う。
- ねらいを明確にし、知識及び技能の確実な習得とともに、思考力、判断力、表現力の育成、学びに向かう力、人間性等の涵養を図る学習指導の充実を努める。
- 特別支援教育、生徒指導の視点を生かしたきめ細かな指導・支援に努める。

健康・安全への意識向上

- 心身の健康について学ぶ機会を充実し、体力づくりへの意欲向上や、家庭・地域と連携した生活習慣の改善を図る。
- 日頃の安全指導を重視し、危険を予測・判断して安全に行動する力を養う。
- 学級や学校、社会におけるきまりやマナーについて考える場を大切に、互いに安心して気持ちよく生活しようとする態度を養う。

保護者や地域の信頼に応える学校づくり

- 志貴野中学校区の小・中学校や、校区の幼稚園・保育園、地域の人材や諸団体との連携を生かし、教育活動の充実及び児童の健全育成を図る。
- 学校経営方針や活動状況等を発信し、開かれた学校づくりを目指す。
- 保護者の願いを受け止め、寄り添い、一人一人の教育的ニーズに応じた教育を推進する。

教職員のチーム力向上

- 同じ目標に向かって支え合い、学び合い、高め合う教師集団を目指す。
- 報告・連絡・相談体制を確立し、一人で抱えこまずに、チームとして課題への迅速な対応を行う。

校内研修

問いをもち、主体的に学びを深める 子供の育成

主体的な学びを促すための単元構想と学習過程

他者との関わりを通して学びを深めるための手立て

生徒指導

教師と児童の信頼関係を基盤にした学級学年経営に努める。

互いのよさや違いを認め合い、助け合う児童相互の好ましい人間関係の形成を育む。

学校と家庭、地域社会との情報共有に努め、連携して、安全指導・健全育成の充実を図る。

小・中学校9年間を通して目指す姿

- 「自他を理解し、互いを尊重する子供」「試行錯誤を繰り返し、粘り強く取り組む子供」「心身共に健康に過ごす子供」
- 感謝と思いやりの心をもって、よりよく関わり、互いに高め合おうとする態度を育てる。
- 夢の実現に向けて、自ら進んで取り組み、挑戦し続けようとする態度を育てる。
- 自分の心と体の成長を見つめ、健全で健康な生活を送ろうとする態度を育てる。
- OSDGsの考え方を理解し、積極的に参加しようとする態度を育てる。